

2021年10月28日

**本邦初、クラウドサービスで受発注管理と倉庫管理とを一体運用  
「MPS Plus」倉庫管理クラウド連携を11月30日スタート**

オザックス株式会社（東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：尾崎 豊弘、以下「当社」）は、サプライチェーンマネジメント（SCM）支援クラウドサービス「MPS Plus（エムピーエス プラス）」をリリースし、11月30日に倉庫管理クラウドサービスと自動連携させます。受発注管理と倉庫管理を一体運用できる、本邦初のシームレスなSCM支援クラウドサービスとなります。



◆サービス開発の背景

当社はかねて、受発注クラウド、倉庫管理クラウドなど、SCM 領域である社内消耗品、副資材、各種資材の受発注管理のデジタル化、倉庫内の入出荷、庫内の在庫管理のアナログ運用をデジタル運用に変化させる各種クラウドサービスを国内の顧客企業に展開、販売してきました。※1

※1 当社サービス販売中クラウドサービス

受発注クラウド「Multi Platform System」 / 倉庫管理クラウド「MPS LOGI」

昨今の新型コロナウイルスの猛威の中で、人流を抑えたい、省力化したいとのニーズがますます高まり、倉庫に限らず、何らかの形で在庫を有する拠点を複数持つ企業からの、在庫管理をデジタル化したとの要請が飛躍的に増加しました。そして、新たに倉庫管理クラウドを利用する顧客から、受発注管理、倉庫管理の両システムを連携して運用したいとのニーズが多数寄せられ、これまでは、要望に応じて都度オーダーメイドでの連携対応をしてきました。この費用、時間の負担を回避するため、今般この連携機能を組み込んだ新たなサービスを開発し、個別対応なしで一体運用を可能としました。

#### ◆システム投資負担を軽減したいすべての企業に

当社クラウドサービス「MPS Plus」では、大きなシステム投資は不要で、企業内で行われる購買業務から、倉庫への出荷指示などを全てクラウド上で運用可能となります。倉庫への出荷指示、出荷実績等が自動で連動され、これまで多くのシステム投資が行われてきた受発注システムと倉庫システム間の連携投資が必要なくなります。

月額課金で利用可能で、また PC だけでなくスマートフォン、タブレットでも操作が可能、受発注、倉庫管理いずれの機能も、オフィス、外部出先、移動中などの利用場所を問いません。初期投資負担に縛られない DX 推進の基礎ツール利用機会、省人化機会を、規模を問わず幅広い企業に提供します。

#### ◆基幹システムとの自動連携

また、多くの顧客が利用している自社基幹システムとのデータ連携機能も拡充させ、基幹システムで作成した注文情報を「MPS Plus」側で受信することで、基幹システムを仕入先への注文エンジンとして利用することも可能とします。「MPS Plus」に API 連携機能を持たせるので、ほとんどの基幹システムとのデータ連携が可能です。基幹システムに入力されれば、出荷まで追加作業は不要、DX の機会はさらに広がります。これは本邦初のサービスであり、来春のリリースを予定しています。

#### 【サービス概要】

サービス名： MPS Plus (エムピーエス プラス)  
連携開始： 2021 年 11 月 30 日 (注文情報データ連携機能は 2022 年春リリース予定)  
月額料金： 最低 10 万円～ (想定)、従量制

#### 【会社概要】

社 名： オザックス株式会社  
本社所在地： 東京都千代田区神田三崎町 3-1-16  
大阪府大阪市中央区博労町 1-6-6 (登記上本社)  
創 業： 1910 年 9 月  
設 立： 1920 年 9 月  
代表者： 代表取締役会長兼社長 尾崎 豊弘  
資本金： 2 億円  
事業内容： 生活産業製品の生産・加工・販売  
洋紙・板紙・紙二次製品及びパルプの販売  
IT・クラウドサービス

**【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】**

オザックス株式会社 経営企画本部 IR・広報室 加藤

TEL: 03-6758-0743 FAX: 03-6758-0744 E-mail : koho@ozax.co.jp

**【本件に関するお問い合わせ先】**

オザックス株式会社 IoT 事業室

TEL: 03-6758-0753 FAX: 03-6758-0754

<https://www.ozaxitlab.jp/>

\*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。